



新型コロナウイルス感染症患者が連日増加しており、近隣でも報告が聞かれるようになり、危機感を強めています。保護者の方につきましては、日々状況が変化する中で、対応にご協力いただきありがとうございます。引き続き、健康観察カードは、毎日実施し、休日もよろしくお願いします。また、送迎時には必ず手指消毒、マスクの着用をお願いします。

職員も保育中、マスクなどの着用、職員と園児の手洗いの徹底、定期的な保育室などの換気、園内の消毒の徹底（机、いす、玩具、ドアノブ、トイレなど）、お昼にも全職員と園児の検温を行い、健康チェックを強化しています。

対応に変更などがある場合は、メールやプリントでお知らせしますので、必ずお読みください。

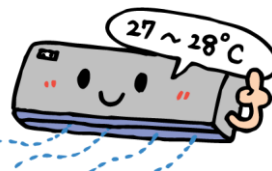
暑い夏を元気に乗り切るポイント

早寝早起きを心がけ、三食きちんと栄養のある食事をとりましょう。また、こまめに水分補給をしましょう。



こまめに汗をふいたり、シャワーを浴びたりして、皮膚を清潔に保ちましょう。

外出時は帽子をかぶり、日焼け止めを塗るなどの紫外線対策も忘れずに。



高温・多湿など条件がそろえば、室内でも熱中症は起こります。エアコンをじょうずに使いましょう。ただ、冷やしすぎには要注意。設定温度 27~28°C を目安にしましょう。

「熱中症？」そのときに

子どもたちが大好きな夏ですが、熱中症には注意を。子どもに異変があったら、すぐに手当てをして重症化を防ぎましょう。



涼しい場所に移動する

風通しのよい日陰や涼しい室内に運んで寝かせ、服のボタンやベルトを外す。



体を冷やす

ぬらしたタオルで体をふき、うちわや扇風機の風を当てて体にこもった熱を逃がす。



水分を少しずつ与える

麦茶や子ども用のイオン飲料などをひと口ずつ与える。一度に飲ませず、様子を見ながら。

- ☐ 冷やしたタオル
- ☐ タオルに包んだ保冷剤
- ☐ 冷えた缶ジュース

などを挟んで冷やすと効果的



39℃以上の発熱があり、ぐったりして意識がないときは救急車を呼びます